



創立50周年 を迎えて

埼玉県立深谷高等学校長
野本 志江

埼玉県立深谷高等学校創立50周年記念誌がここに埼玉県教育委員会教育長 日吉 亨様 を始め多くの方々からの御寄稿をいただき刊行できますことに深く感謝申し上げます。

本校は、深谷市に男女共学の普通科進学校の設置をという地域からの熱い要望により昭和49年に創立され、今年度で50周年を迎えました。創立以来「文武両道」を目標に掲げ、学力の向上と部活動等の特別活動の充実に力を注ぎ、この50年間で11,000余名の卒業生を社会に送り出しています。卒業生は地元産業界や官公庁はもとより広く国内外で活躍しており、本校にとって大きな誇りです。

学習面においては、平成19年度から特進クラスを設け、進学に向けた指導を充実し、学力の向上とともに生徒の進路実現を目指しております。また、少人数学級編制や習熟度別授業、多様な選択科目の導入により、個に合わせたきめ細やかな指導を展開し、生徒の多様な進路希望を念頭においた人財の育成をしております。

部活動においては、創立以来多くの部活動が全国大会や関東大会に出場し、活躍をしております。男子バレーボール部は8回全国制覇を成し遂げ、今年度はビーチバレーでも国体出場を果たしました。また、ラグビー部は高等学校ラグビーフットボール大会に10回出場しております。それらの部活動の活躍は地域や県民の方々から高い評価を得ております。

さて、新型コロナウイルス感染症により予期せぬ臨時休業を経験し、予測のできない中でどう進めばいいのか考える機会を得ました。変化の速い先行き不透明なこの時代にさらに地域と連携しながら心豊かな人財を育成し、地域の期待に応えられる高等学校を目指し、進めて参ります。

創立50周年記念事業の一環として、令和5年度入学生より制服を一新しました。これからの時代を見据え、生徒のみなさんがより快適に学校生活を送ることができるように在校生、保護者の皆様や地域の方にも協力いただき、実現しました。また、環境整備事業として、体育館のスクリーンの自動化等についても進めているところです。

終わりに、本校発展のために御尽力いただきました多くの方々に重ねて感謝申し上げますとともに今後とも一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。



創立50周年 を迎えて



実行委員長
上野 英男

今年度、埼玉県立深谷高等学校が昭和49年に創立されて以来、節目の50周年を迎えられましたこと心より御祝い申し上げます。

ここに記念式典を挙行し併せて記念誌の刊行にあたり、埼玉県教育委員会様をはじめ、教職員、同窓会、後援会、PTA、そして50年間のたくさんの卒業生の皆様方の多大なる御尽力、御支援に敬意を持って深く感謝申し上げます。

この4年間、コロナ禍で学校生活や行事が制限もあり思うように出来ず、生徒と教職員の苦悩と御苦勞を心苦しくも見てきました。今日このような晴々しい日が迎えられました事は、幸甚の極みであります。

そんな中でも深谷高校は前向きに、50周年記念事業の一貫として、プロジェクトチームを作り、新たに制服を一新する計画を立て、新時代に向けて、多様性と機能性を重視し、更に新しい素材を使った新制服が出き上がりました。令和5年度入学生から着用が始まり、新しい風を感じます。

また現在、深谷市でも来年度より新一万円札の肖像画に、皆様よくご存知の事と思いますが、渋沢栄一翁が決定しており、大河ドラマの主人公にもなり全国で「深谷」の知名度が、益々上がっています。

深谷高校は、開校から「文武両道」の精神を目標に掲げ、学力の向上と部活動でも素晴らしい実績を残してまいりました。

多くの卒業生が様々な分野で活躍され、今も大学の指定校という形で深谷高校の伝統の力となっています。また部活動では男子バレーボール部やラグビー部などのスポーツの強豪校としても全国で知られており、プロに進んで活躍している卒業生が多くいるのです。そして、活躍する選手に憧れて遠方から深谷高校に入学する生徒さんもいます。

私も全国大会と県予選の決勝戦の応援に参加させてもらった事がありますが、深谷高校の全校生徒応援団とブラスバンド部の声援と演奏の中、保護者や教職員、OBもたくさん駆けつけて「頑張れ!」と一緒に喜び涙し、なかなか出来ない経験をさせて頂き大変幸せでした。

深谷高校の50年の歴史は「深高愛」、深谷高校を愛し応援して下さる先輩方が築き上げた功績と、地域の皆様方に守られて歩んできました。皆様から今後とも御指導、御尽力を頂きながら、更に特色ある高等学校を目指し飛躍されます事を期待申し上げます。

結びに50周年記念の実行委員長として携わらせて頂き大変光栄でした。

深谷高校の益々の御発展と御活躍を祈念し、御挨拶とさせていただきます。



創立50周年 を祝して

埼玉県教育委員会教育長
日吉 亨

埼玉県立深谷高等学校が創立50周年を迎え、ここに記念式典を挙行し併せて記念誌を発行されますことは、誠に意義深く心からお祝い申し上げます。

本校は、昭和49年、大学等への進学を志す子供たちの希望を叶えるため、普通科高校設置を願う地域の方々の大きな期待を担って開校されました。以来50年間、地域に根ざした学校づくりに努力され、1万1千余名に及ぶ卒業生を社会に送り出しており、多くの優れた人材が各方面において活躍され、地域社会の発展にも貢献されています。

これもひとえに、歴代の校長先生をはじめとする教職員の皆様の教育に寄せるひたむきな努力と情熱、また、PTA、後援会、同窓会や地域の皆様の多大なる御支援、御協力の賜と深く感謝申し上げます。

さて、国では、「主体的・対話的で深い学び」や「社会に開かれた教育課程」などをキーワードとした学習指導要領改訂を行いました。本年度は実施2年目を迎え、ICTやAIの進展は目覚ましく、学校教育でも「一人一台端末」など、時代を担う人材の育成に向けて具体的な取組が進められています。

県教育委員会では、基本理念を「豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育」とした第3期埼玉県教育振興基本計画策定から4年を経過し、最終年度を迎えました。社会の変化を正確に予測することが困難なこれからの時代においては、主体的に社会に関わり、多様な人々との交流を通じて、新たな価値を創造し、人生や社会の未来を切り拓くことのできる力が求められます。子供たちの様々な能力と可能性を开花させるため、これらの課題に全力で取り組んでいるところです。

本校におきましては、この趣旨を理解され、学力の向上、部活動の振興に重点を置いた取組がなされ、特進クラスを設置するとともに少人数学級編制・習熟度別授業や多様な選択科目の設定や3年間の計画的な進路指導により、生徒一人一人の希望進路実現に成果を上げています。また、部活動では、全国制覇の実績がある男子バレーボール部やラグビー部の通算10回の全国高校ラグビー大会出場はもとより、陸上競技部や山岳部などの部も全国大会や関東大会で活躍しており、高い評価を得ています。今後も生徒一人一人が自分の目標に向かって努力することにより、学力向上と健やかな成長を実現できるよう引き続き学校全体で努めていただきたいと思います。

生徒の皆さんには、創立50周年という意義ある節目の年を機に、本校の素晴らしい校風と伝統を受け継ぎ、より一層勉学や部活動に励むとともに、21世紀を担う心豊かな社会人となられますよう、心から期待いたします。

結びに、本校の限りない発展を祈念いたしますとともに、関係の皆様の本校に対する変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げ、お祝いの言葉といたします。



文武両道の人材 育成に期待します

深谷市長
小島 進

埼玉県立深谷高等学校が、創立50周年を迎えられ、このような素晴らしい『50周年記念誌』が発行されますことに、心からお喜び申し上げます。

貴校は、昭和49年に創立されました。以来、変動する時代とともに歩み続けて、今日の隆盛たる地位を築いてこられました。

これは、第一に、歴代の校長先生をはじめ、諸先生方の教育への情熱の賜物であり、その時々のご保護者の皆さまの御協力、在校生並びに卒業生の皆さまの御努力の結果であります。また、長年にわたって地域に愛され、地域社会に果たされてこられた、多大な御貢献にあらためて深い感謝と敬意を表したいと思います。

貴校は、開校以来、『文武両道』を目標に掲げ、オリンピックなどの日本代表選手や地域のリーダーとして活躍する多くの卒業生を輩い出され、『深高』の名声を揺るぎないものにしておりますことは、地元深谷の誇りであります。

また、『文武両道』の目標は堅持しつつ、目指す学校像については、『心豊かな生徒を地域とともに育てる学校』と新たに掲げ、地域との連携をさらに推進していくとのこと。深谷市といたしましても、様々な分野で連携を深め、地域の発展のため、協働を深めて参りたいと考えております。

来年7月には、郷土の偉人、渋沢栄一翁が肖像画に採用された、新一万円札が発行されます。これを機に、栄一翁の顕彰を更に進めるとともに、栄一翁の『忠恕』すなわちまごころと思いやりの精神を、まちづくりに生かして参りたいと考えております。

今年4月から計画期間に入りました、『第二次総合計画後期基本計画』の基本方針に『誰一人取り残さない みんながうれしい ふかや』を掲げています。これは、『あんたがうれしいだけでなく、みんながうれしいのが一番なんだ』という、大河ドラマ『青天を衝け』の中の、渋沢栄一翁の母のせりふにあやかりました。この基本方針を大切に、市民の皆さまと力を合わせてまちづくりを進めてまいりますので、貴校の関係者の皆さまも御協力をお願いいたします。

現代社会は、少子高齢化、高度情報化、国際化など、大きく動いています。このようなときこそ、意欲と創造力にあふれる若い人材の育成が求められておりますが、伝統ある校風を受け継がれ、勉学はもとよりしっかりと人間形成に努めておられる貴校に対する期待はきわめて大きいものがあります。

どうか、埼玉県立深谷高等学校が、50周年を節目として、ますます発展されますとともに、校長先生、諸先生方並びに関係者の皆さまの御健勝と御活躍をお祈り申し上げまして、お祝いのごことばとさせていただきます。



51年目に 走り出す

埼玉県立深谷高等学校PTA会長
須永 賢太郎

私たちの学校、埼玉県立深谷高等学校が、創立から50周年を迎えることを、心からお祝い申し上げます。

50年前、この学校はまだ若干の幼さを持ちながらも、地域の教育の重要な拠点としてスタートを切りました。そして今、深谷高校は多くの卒業生を輩出し、地域や社会に多大な貢献をしております。心から尊敬の念を抱きます。

創立50周年という節目は、私たちにとって大切な機会であり、この学校の歴史と成果をたたえながら、これからの更なる発展を見据える時でもあります。深谷高校は、豊かな教育環境と温かい学校風土が融合した場所であり、多くの人々にとって学びの場としての価値を提供してきました。

この50年間にわたって深谷高校は変化し続けてきましたが、その教育の根幹には変わらない価値観があります。それは、教育目標である「文武両道」を目指し、心豊かな生徒を地域とともに育てる学校です。これからもこの価値観を大切に、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、社会への貢献を果たせる人材を育ててほしいと思います。

また、50周年を迎えるにあたり、深谷高校の歴史や成果を振り返るだけでなく、学校の未来に目を向けることも大切です。これからの社会はますます多様化、グローバル化していく中で、深谷高校は地域と連携し、教育の最先端に立ち続けるために改革を進めなければなりません。私たちPTAは、教員、職員、後援会、同窓会の皆様と協力し、より一層の教育環境の充実を図り、生徒たちが主体的に学び、成長できる場を提供していきたいと考えております。

最後になりますが、深谷高校の創立50周年を機に、関わる全ての皆様に心から感謝の意を表します。これからも深谷高校は、地域の教育の中核として、生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、社会へとトライしていく人材を育て続けてまいります。皆様のご支援と、ご協力を心からお願い申し上げます。

51年目に走り出す深谷高校の益々のご発展を心よりお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。





埼玉県立 深谷高等学校 50周年記念に 寄せて



埼玉県立深谷高等学校同窓会会長
正田 康高

埼玉県立深谷高等学校、創立50周年を迎えられましたこと、衷心よりお慶び申し上げます。

深谷高等学校は、昭和49年（1974年）に創設され、私は、第一期生として入学し、50周年を迎えるこの特別な瞬間に立ち会い、感慨深い気持ちでいっぱいです。

50周年の長い歴史と共に培われてきた、『文武両道』を礎にこれまでの多くの先生方とご父兄のご努力に深く感謝申し上げます。生徒の皆さんも大部分が進学を希望しており、落ち着いた環境のもとで、充実した高校生活を送っており、本校の卒業生も社会で活躍され、スポーツにおいては日本代表選手を輩出するなど目ざましい活躍をしており、深谷高校の名声に寄与しています。

この50周年という節目は新たな始まりでもあり、今後も教育の品質を維持し、生徒たちの夢を実現できる場所であることを願っております。

結びにあたり、埼玉県立深谷高等学校の創立50周年の栄えある歴史を礎とし、更なるご繁栄と関係各位のご多幸をご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



創立50周年に あたって



生徒会長
栗原 一颯

深谷高校は今年で創立50周年を迎えました。この記念すべき節目の年に立ち会うことができた喜びと、私たち深谷高校を今日まで支えてきてくださった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

深谷高校の素晴らしい点は、絆が深いところです。例を挙げるとしたら、文化祭や体育祭などの学校行事です。準備からクラス全員が一致団結し、協力して行事を行います。新型コロナウイルスの影響で、ここ数年は通常の文化祭が開催できていませんでしたが、創立50周年を祝うかのように、今年は例年通りの文化祭を行うことができました。オープニングからとても盛り上がり、最高の文化祭になりました。全校生徒の協力があったからこそ、このように行事が成功したのです。

深谷高校の生徒は真面目で、多くの生徒が学校行事はもちろん、学習や部活動に一生懸命打ち込み、日々努力しています。私はこの素晴らしい深高生の代表である生徒会長を務めていることを誇りに思っています。これからも深谷高校が発展し、伝統や歴史を築いていく中で、こういった深谷高校の素晴らしさを多くの人に伝えていけたらと思います。

最後になりましたが、創立50周年、本当におめでとうございます。深谷高校の一層の発展を祈念して、生徒代表の言葉とさせていただきます。